



# ガンバッテいます



濱治二美子さん  
JAやしろ直売所「JAグリーン  
緑のシンフォニー北部店」  
出荷者



中村 好文さん  
JAくま  
葉タバコ生産農家

濱治さんは農業を始めて約40年になります。もともと草とメロンを栽培していました。後にトマトへの転作を始め、4年前からミニトマト（OF千果）へ切り替えました。現在はミニトマト32aのほか、水稲15a、メロン15a（肥後グリーン）、スティックセニョールなどの野菜を少量作っています。

**●緑のシンフォニー北部店**  
昨年10月27日、JAやしろとJA熊本経済連との共同運営の資材店舗「JAグリーン緑のシンフォニー北部店」は開店しました。同店には直売所が併設され、生鮮野菜や加工品を販売しています。

**●草からトマト・ミニトマトへ**  
濱治さんは農業を始めて約40年になります。もともと草とメロンを栽培していました。後にトマトへの転作を始め、4年前からミニトマト（OF千果）へ切り替えました。現在はミニトマト32aのほか、水稲15a、メロン15a（肥後グリーン）、スティックセニョールなどの野菜を少量作っています。

**●大分への出荷**  
「直売所ができる前は、大分へ出荷していました」という濱治さん。今から14年前市場へ少量ずつ作っていた野菜を持って行ったところ「大分へ出荷しないかと勧誘され、大分のスーパーに名前付きで出荷。8年前までキャベツ、塩トマトなど

あさぎり町上南で、主に葉タバコと水稲を栽培しているJAくま青壮年部あさぎり支部長でもある中村好文さん（42歳）を取材しました。小さい頃から、両親が朝早くから夜遅くまでタバコ生産にかかわっている姿を見て育った中村さんは、「あんまり農業をする意思はなかった」と言います。しかし、福岡のフケ料理店で働いていた中村さんは、当時知り合った福岡県出身の奥さんとの結婚を機に、奥さんの後押しもあって28歳で帰郷し就農されています。

**●タバコは収穫時期が大変**  
中村さんは、葉タバコ3.5ha・水稲4ha・大豆1haの大規模経営です。この他に約10年間イチゴを作っていた

タバコは、黒ぼく土の畑では育ちにくいことから水田で栽培しています。10年くらい前から、葉タバコの収穫が終わると飼料稲を作付けて、近所の畜産農家に提供しています。飼料稲は手間暇がかからず、10a当たり

いきましたが、現在は試験的にプロット（10a）とボウを10〜20a栽培しています。労働力は、中村さん夫婦と、両親に加え、年間を通して1人雇用し5人で農作業にあたっています。葉タバコは1月に播種し、3月に定植、収穫は5〜8月に掛けて行います。この時期が最も大変で、ほぼ毎日、早朝5時半から昼ごろまで収穫した後、1〜20時間かけて乾燥します。乾燥は自宅と共同の施設で半々処理しているとのこと。

スーパーの専用コーナーで販売し、好評だったそうです。

**●直売所について**  
直売所では、お客様が美味しいシジメを教えてください、農家仲間からは栽培技術の情報交換などの交流ができるという濱治さん。ただし、出荷準備は夜中の仕事になってしまいます。「主人は「大変だからスティックセニョールはもつやめたら」と言いますが、私は好きだからやめたくないです」と話してくれました。

しかし、高齢化や担い手不足によりタバコ耕作者は減少し続け、この地区の農業後継者では中村さんが最も若いそうです。加えて、喫煙人口の減少等により、JTが10a当たり30万円を交付するといった「廃作募集」の影響もあり、旧上村管内でも70軒あったのが45軒に減ったと言います。

**●JTとの契約栽培**  
JAくま管内の葉タバコ生産量は県内の約半分を占め、あさぎり町はその4割を生産していると言います。しかし、高齢化や担い手不足によりタバコ耕作者は減少し続け、この地区の農業後継者では中村さんが最も若いそうです。加えて、喫煙人口の減少等により、JTが10a当たり30万円を交付するといった「廃作募集」の影響もあり、旧上村管内でも70軒あったのが45軒に減ったと言います。

**●直売所見学は趣味の一つ**  
「夏の農閑期や、時間が空いた時に他の市場や直売所を見学に行きます。主人は市場、私は直売所。が、その買取価格は「葉タバコ審議会」で決定されるとのこと。中村さんの昨年の等級は、A・B（ランク）（kg当たり600円の価格差）の中で、Aランクが95%を占めたそうです。また、葉タバコは喫煙する作物であることから、農薬の使用基準は厳しく、農薬の種類によって使用期間や回数が決まられているとのこと。

**●これからの抱負**  
濱治さんは「今は直売所が増えたので、場所のPRと、なにか特徴が必要だと思う。またTPPがどうなるのか不安です。でも、お客さんから美味しいといわれる物を作りたい。また、夏出荷できる野菜の勉強もしたいので、体と相談しつつ頑張りたい。〇〇と言えば濱治さんの、と言われぬような野菜を作りたいです。そして、おいしい野菜の食べ方を皆さんに伝えていきたいです」と話してくれました。

**●好きな言葉**  
「これまで、雷や台風により多少は被害を受けたこともあったが、比較的順調にやってくれた。これから、精一杯やって、後は、なるようになる。の気持ちで、前向きに考えるようにしたい」と語る中村さん。

「これまで、雷や台風により多少は被害を受けたこともあったが、比較的順調にやってくれた。これから、精一杯やって、後は、なるようになる。の気持ちで、前向きに考えるようにしたい」と語る中村さん。